

パラグアイ共和国の都市貧困に関する研究

～A川沿いに住む貧しい人々の暮らしを中心に～

1455039 大橋怜史 指導教員 藤掛洋子

【背景と目的】

近年経済成長の最中にある南米パラグアイ共和国では、地方から都市への人口集中が進んでおり、都市部には職に就けないなどの理由で貧しい人々も集まっている。パラグアイ共和国の中で最大の都市である首都アスンシオンには洪水の被害を受けるために貧しい人々が集中している地域が存在する。それが、Bañado Sur, Bañado Norte, Dr. Ricardo Brugada の 三地域である。また、これら三地域以外で貧しい人々が暮らす地域が、アスンシオンバスターミナル付近の地域と、小川沿いの地域である。こうした貧困地域の現状等を体系的に述べたような先行研究はない。また、これら貧困地域の中でも特に目を向けられていない地域が、首都アスンシオンを流れる小川沿いの地域である。以上の背景から、本研究の目的は、首都アスンシオンにおける貧困地域の状況と問題点を明らかにすることであり、さらにその中でも特に注目されていないA川沿いに住む貧しい人々の生活状況を明らかにすることである。

【研究方法】

本研究は文献調査に加え、「アスンシオン市役所におけるアスンシオン市内の土地の占有状況に関するヒアリング調査／2018年10月」、「A川沿いに住む人々の生活に関するヒアリング調査／2018年10月～11月、対象者5名」、「首都アスンシオン滞在中に行った参与観察／2017年7月～2018年3月、2018年8月～11月」の三通りのフィールド調査に基づくものである。

【研究結果及び考察】

本研究ではまずアスンシオンの土地の権利問題に関する調査を行い、その後アスンシオンの貧困地域の概要を取り上げ、その後A川沿いの地域におけるヒアリング調査を行い分析と結果を述べた。市役所におけるヒアリング調査の結果から、アスンシオンの土地の権利問題については特に貧しい人々が多く住む地域において市役所による土地の権利書の付与が滞っており、その状況はパラグアイの役所側にも現地に住む人々の側にも問題を生じさせていることが分かった。また、土地の権利書の問題の解決には市役所の汚職体制の改善および、第三者機関によるプロジェクトの実行などが必要になる。次に、アスンシオンの三大貧困地域においては、堤防の建設のみならず、排水システムの整備こそがこれら三大地域の洪水被害の低減に役立つと考察された。また、Bañado Sur 地域における堤防建設のプロジェクトのための測量は、洪水という要因により進んでいないのではないかという問題があることが明らかとなった。A川沿いの人々の暮らしに関しては、インタビュー対象者の語りから①土地の所有権、②A川の歴史、③生活の状況、④生活史の概略とA川沿いに暮らしている経緯、⑤生活上の問題点、の五つの観点から分析と考察を行った。その結果、A川沿いの地域における土地の権利書の必要性や、川岸の壁の補修工事の必要性、河川流域地域の道路の整備やごみ回収サービスの充実の必要性などが確認された。